

授業科目 小児看護学演習

【担当教員名】 松 井 由美子 他		対象学年	2	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 子どもとその家族の日常生活援助や治療・検査・処置に伴う援助を実施するために必要な知識・技術・態度を修得する。子どもの成長発達上の特性をふまえて、具体的な実践方法を学んでいく。実践においては、子どもの権利を尊重した接し方についても学習する。小児看護技術の演習はグループによる自主作成によるロールプレイを取り入れ、各自が役割を決めてグループワークに参加し、その全学習過程をポートフォリオを使ってまとめ、最終評価を行う。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 子どものフィジカルアセスメントの方法について述べられる。 2. 子どものフィジカルアセスメントを実施し、得られた情報を系統立てて述べることができる。 3. 子どもの診療や日常生活の援助技術の方法を述べられる。 4. 子どもの診療や日常生活の援助技術を安全に留意して実施できる。 5. 子どもの応急処置の方法と救急蘇生の方法を理解し、説明できる。 6. 子どもの権利や尊厳を守り、子どもへの説明や同意を得る工夫ができる。 7. グループ活動の中で自分の役割を果たすことができる。 8. 目標を持ってポートフォリオを作成し、目標達成についての自己の過程を振り返ることができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	授業ガイダンスとグルーピング・個人目標の設定				講義
2	子どもの援助関係形成と環境調整			1～6	講義
3	子どものフィジカルアセスメント（発達診断法・身体計測）			1、2	講義
4	子どものフィジカルアセスメント（バイタルサイン測定法）			1、2	講義
5	日常生活の援助技術（食事・排泄・清潔・衣生活）			3、4	講義
6	演習準備（グループワーク）			7	グループワーク
7	診療に伴う援助技術（与薬・検査・処置）			3、4	講義
8	演習準備（グループワーク）			7	グループワーク
9	第1回演習「抱っこと授乳・経口与薬と吸入法・輸液療法」			1～7	演習（小児教員全員）
10	第1回演習「抱っこと授乳・経口与薬と吸入法・輸液療法」			1～7	演習（小児教員全員）
11	第2回演習「身体計測・バイタルサイン測定・全身清拭」			1～7	演習（小児教員全員）
12	第2回演習「身体計測・バイタルサイン測定・全身清拭」			1～7	演習（小児教員全員）
13	第3回演習「小児の応急処置と救急蘇生」			5	演習（小児教員全員）
14	ポートフォリオのまとめと発表			8	講義
15	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		ナーシンググラフィカ29 小児看護技術	中野綾美編	メディカ出版	2007・3,360円
		子どものフィジカルアセスメント 写真でわかる小児看護技術	小野田千枝子 山元恵子監修	金原出版 インターメディカ	2001・4,200円 2006・2,625円
その他の資料					
【評価方法】 演習のロールプレイ（60%） ポートフォリオ（40%）			【履修上の留意点】		